

すわみつえ通信

No.176 2021年6月7日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かしいのちとくらしを守る市政に

ワクチン接種 始まりました

75歳以上の方のワクチン接種が5月31日より市内医療期間38箇所で開催されました。「受けたよ」という報告も聞かれています。「腕が上がりにくい。重い感じ」と副反応はあるものの、「スムーズで丁寧な対応だった」とそうです。

6月7日からは65歳から74歳までの18,500人の対象者に予約受付のハガキを送付することになっています。市は早期の接種完了を目指して、医療機関の協力を得ながら、予約数を随時拡大していくとしています。



接種券が見当たらない！
という方、ご連絡ください

65歳以上の方には封書で4月23日以降に郵送されている接種券ですが、「手元がない」とご相談がありました。市担当部署に連絡をして再発行の手続きをしてもらいました。
もし、同様な方がいらっしゃいましたらご連絡ください。

パソコンもスマホも苦手！
という方、支援があります

6月7日(月)～6月18日(金)

●午前9時～11時30分

●午後1時～4時30分

各公民館・生涯学習センターで職員が予約支援を致します。

接種券をご持参のうえ起こし願います。(施設休館日を除く)

★すわみつえ市議も予約支援を致しておりますので、お気軽にお電話ください。

生理用品を学校の女子トイレに

新型コロナウイルスの影響で減収となり、生理用品が買えない「生理の貧困」が社会問題となっています。イギリスでは女性たちが声を上げて「無償配布」や「課税をしない」とが実現しています。日本でも各地で「無償配布」の試みがされています。上尾市・桶川市・伊奈町・北本市では庁舎内のカウンターで無償配布をしています。

鴻巣市では「新日本婦人の会」が18袋入りの段ボールで8箱を市教育委員会に寄付をしました。「市内中学校8校の女子トイレに常備して、生徒たちが必要な時にいつでも使え

るように」と届けました。活用状況を電話で確認したところ、「保健室で必要に応じて手渡している」とのことでした。願いは「トイレトパーパーが常備されているように生理用品も常備される」ことです。



静岡県富士市では、市役所内に置かれた「さくらカード」を、窓口を持っていけば生理用品と交換してもらえます。(写真) 窓口で女性職員が対応。

涼しげなホタルブクロ

今年も年金者組合の方がホタルブクロを届けてくださいました。涼しげな色合いが雨に似合う。夏の季節。



俳句コーナー

ワクチンの話ばかりで五月尽

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

高齢者医療費2倍化法成立

コロナ禍の下
生活支援こそ

倉林明子議員が反対討論



(写真) 反対討論する倉林明子議員=4日、参院本会議

討論で日本共産党の倉林明子議員は、「必要な医療が受けられなくなることを前提に負担増を強いるのは、高齢者の命を削り、尊厳を脅かすものであり断じて許されない」と強調。撤回を強く求めました。

政府が、今回の高齢者への大幅負担増の口実にしている現役世代の保険料負担軽減額は月30円にすぎません。

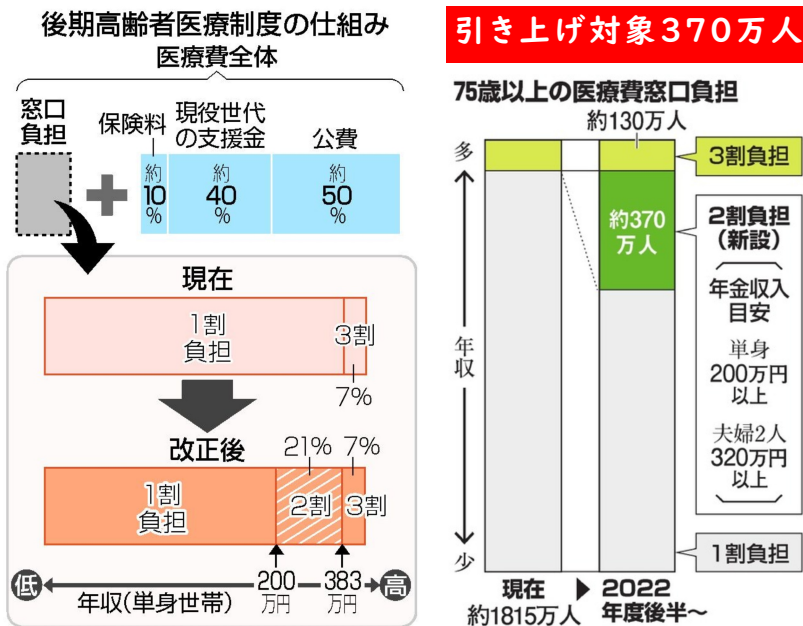
倉林氏は、改悪の真の狙いが公的な社会保障費の削減にあることを明らかにし、「この間減らしてきた高齢者医療の国庫負担割合を元に戻すことこそ急務だ」と力説しました。

その上で、政府が「能力に応じた負担を」と言うのなら、減税と株高でコロナ禍でも莫大な利益を得ている大企業や大資産家に応分の負担を求め全世代の社会保障の大幅拡充に踏み出すべきだと強調。「コロナ禍のものでいまやるべきは思い切った負担軽減、生活への手厚い支援だ」と訴えました。

75歳以上の医療費窓口負担（現在原則1割）に2割負担を導入する「高齢者医療費2倍化法」が6月4日の参院本会議で自民、公明、維新、国民民主各党などの賛成多数で可決、成立しました。日本共産党、立憲民主党などは、反対しました。

2割への窓口負担増は当面、単身世帯で年収200万円以上、夫婦世帯では合計年収320万円以上が対象（課税所得の要件あり）。施行期日は2022年10月1日から23年3月1日まで。の間で政令で定める日としています。政府は2割負担導入による「受診行動」の変化で医療給付費が年間1050億円も減少すると試算しています。

75歳以上の多くは現在、かかった医療費の1割を負担しています。残りの部分の半分は税金（公費）、4割は現役世代が加入する健康保険組合などの支援金、1割が高齢者の納める保険料で賄われています。



時事通信社【図解】「後期高齢者医療制度の仕組み」から=5日付

朝日新聞【図】=4日付

エゾフクロウのひなが成長 北海道石狩地方の森林で

北海道石狩地方の森林で、エゾフクロウのひながすくすくと成長している。つぶらな瞳にふわふわの白い産毛を身にまとった姿は、まるでぬいぐるみのよう。



地元の住人によると、ひなは全部で3羽おり、木の幹の巣穴から5月下旬に出てきたばかり。うまく飛ぶことはできず、枝の上で身を寄せ合ってじっとしていることが多いという。

エゾフクロウは成鳥で体長約50センチ。北海道域に生息する。ひなは約2か月後に独り立ちしていく。

(共同通信社 6月3日付)

アルパカも「衣替え」 長野・茶臼山動物園

長野市の茶臼山動物園で6月1日、雄のアルパカ「ダイヤ」の毛を刈る作業があった=写真。本格的な夏の到来を前に「衣替え」した。



アルパカはペルーなど高冷地の原産で、毛を刈らないと熱中症になってしまうという。職員らはダイヤを落ち着かせようと布で目を隠したが、立ち上がろうとしたり、大きな声で鳴いたり。2人がかりで体を押さえ、2時間余りかけてバリカンとはさみで毛を刈り終えた。ダイヤは約3キロの毛を刈ってすっきりとした装いに。(信濃毎日新聞 6月2日付)